

ろうさい ニュース

— 今月のトピックス —
**脳神経血管内治療
センター**
を開設いたしました。

浜松労災病院 地域医療連携広報紙 第334号 平成24年6月号

■ 第12回地域医療連携講演会を開催しました

去る平成24年5月23日(水)、当院6階大会議室に於いて「第12回地域医療連携講演会」を開催いたしました。

平成24年4月に就任した有井病院長を講師に、「原発性・転移性肝がんの最新診療」の演題で開催しました。当日は院内外から100名を超える参加者があり、ご参加いただきました開業医の先生方ありがとうございました。

質疑応答では、参加者からの肝がんや移植の最新事情などに関する質問等が活発に行われ盛況のうちに閉会いたしました。

当院では、地域医療連携講演会や市民公開講座をより有意義にするために、終了後にアンケート調査を実施しております。頂戴いたしましたアンケート結果における、ご意見やご要望に応えられるように、今後の講演会等の開催を計画して参りたいと思っております。



その他、ご意見ご要望などございましたら当院地域連携室あてお気軽にお問い合わせください。

なお、7月後半には、渡邊脳神経血管内治療センター長による講演を予定しております。お気軽にご参加いただければ幸いです。



■ 第61回浜松労災病院学術集談会を開催いたします。

7月4日(水)16:00より当院6階大会議室にて第61回浜松労災病院学術集談会を開催いたします。当院の医師を中心に様々な職種の職員が日頃の研究成果を発表いたします。また、集談会の最後には、特別講演も予定しております。

地域の開業医の先生方に、当院の活動内容を知っていただく機会としてご参加いただければ幸いです。

たくさんのご参加をお待ちしております。詳しくは地域医療連携室までお問合せ下さい。



■ 市民公開講座を開催しました

日時 5月30日(水) 参加者 一般16名 職員16名

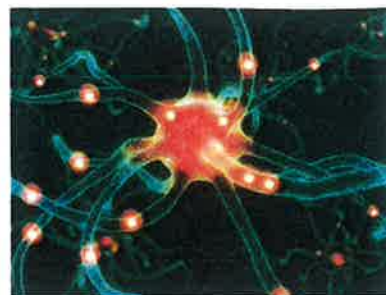
今回は、当院、原田栄養管理室長により「食事ですべてを予防するメタボリックシンドローム」についての講演が行われました。資料を基に自己チェックシートを用いながら食生活についての話が行われ、日頃の食生活がメタボリックに大きく左右することから、参加された方は熱心に聞き入っていました。参加を勧めていただいた開業医の先生方、ありがとうございました。

今後も随時開催予定ですので、ご参加いただける患者さん等がおりましたら、お声かけをいただければ幸いです。よろしく願いいたします。

■ 脳神経血管内治療センターの開設について

脳神経血管内治療センター長 渡邊 芳彦

5月1日付けで浜松労災病院脳神経外科部長に着任致しました渡邊芳彦です。この度6月1日付けで当院に脳血管内治療センターを開設し、同センター長を兼任することとなりました。2ヵ月連続で恐縮ですが、一言ご挨拶申し上げたいと思います。



脳神経外科の扱う疾患群の中で、脳血管障害は非常に大きな位置を占めています。脳血管障害の中でも特に脳卒中は、一昔前であれば日本人の死因の第1位の疾患でした。現在は第3位となっていますが、医療技術の進歩により命を救える事例が増えたということも、その一つの要因と考えられます。今後更なる高齢化社会を迎えるに当たって、脳卒中診療はより重要性を増していくことと思われまます。

その脳卒中診療の中で、近年急速に進歩を見せているのが脳血管内治療です。カテーテルを用いて血管の内側から治療を行う方法ですが、治療に用いる機器や物質の開発が著しく、またそれに伴って知見の蓄積や技術面の進歩も相まって、10年前と現在とでは治療できる疾患の範囲も安全性も格段に高まっています。

私が脳血管内治療に出会ったのは京都大学の脳神経外科に入局した平成7年のことでしたが、本格的に学んだのは平成14年に前任地の小倉記念病院に赴任してからになります。同院の脳神経外科主任部長の中原一郎先生（浜松労災病院で勤務されたこともあるそうです）が日本脳神経血管内治療学会の指導医でしたので、基礎からみっちり教えていただき、平成19年に無事に同学会の専門医の資格を取得することができました。そして平成21年からは同院の脳血管内治療部門のチーフという立場になり、術者として多くの経験をすることができました。小倉記念病院で仕事をした10年間で、脳血管内治療がいかに脳神経外科診療において必要なものであるかを痛感致しました。もちろん脳血管内治療が万能で、夢のような治療法ということではありません。手術による脳神経外科治療や内科的治療も非常に効果の高い治療法であり、それらと補い合いながら、より患者さんにとってベストな治療を提案し、提供していくことが、プロフェッショナルとしての責務だと思っています。

浜松市および近郊の都市では、既に脳血管内治療を行っている医療機関があります。そういった先輩方と連携を図りながら、脳血管内治療分野の一つの拠点として、地域の住民の皆さんがより安心して生活していただけるよう努力していきたいと考えています。開業医の先生方からのたくさんのご紹介をお待ちしております。今後とも何卒宜しくお願い致します。

■ 院長外来を始めました

4月1日付けで新病院長に就任しました有井 滋樹 病院長の**肝臓・肝のう・膵臓疾患外来**を開設いたしました。外来日は**毎週火曜日の9:00~11:00（受付）**となっております。多くの御紹介をお待ちしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

■ 各診療科より

- ・ **脳神経血管内治療センター**が開設され、**渡邊 芳彦センター長**が就任いたしました。
- ・ 消化器内科・精神神経科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科につきましては、しばらくの間、**非常勤医師**のみの対応となります。
- ・ 皮膚科・婦人科・眼科・耳鼻咽喉科は**午後も診察**を行っております。多くのご紹介をお待ちしております。（詳しくは6月外来担当医表をご覧ください）

■ 地域医療連携室より

- ・ 以前より開業医の先生方からご要望が多かった**土曜日の紹介患者予約の受付**を、4月6日（土）より開始いたしました。地域医療連携室スタッフは不在のため、事務当直室で対応させていただきます。不慣れな点がございませうがよろしくお願いいたします。
- ・ 連携室では、紹介患者さんの待ち時間短縮を図るため、紹介元の医療機関様の事前予約をお願いしております。恐縮ですが、当院所定の紹介状様式をご使用頂き、予約決定後、FAXにて当連携室宛てに送信頂きますようお願い申し上げます。また、紹介患者さんには、紹介患者専用受付窓口⑨番を訪ねていただくようにご案内のほどお願い申し上げます。

TEL 053-411-0366 FAX 053-411-0315 担当 門本、鈴木

浜松労災病院 診療科紹介（その7）

・リハビリテーション科

特色	<p>当院のリハビリテーション科ではリハビリテーション科専門医3名、理学療法士7名、作業療法士3名、言語聴覚士1名を擁して、主に入院患者さんのリハビリテーションに携わっています。また勤労者の方々には個々の疾病、職業性疾病の外来リハビリテーションも行っています。外来リハビリテーションにおいては職業復帰の支援も行います。</p>		
主な対象疾患	<p>脳卒中（嚥下障害や高次脳機能障害も含む）、脊髄損傷などの中枢神経疾患と切断を含む骨関節疾患、廃用症候群、各種呼吸器疾患、心臓外科術後、一般外科術後など。</p>		
スタッフ	部長	杉山 宏行	<ul style="list-style-type: none"> ・日本リハビリテーション医学会指導責任者・ ・専門医・認定医 ・日本医師会認定産業医 ・産業医学基本講座終了（ディプロマ） ・日本職業・災害学会労災補償指導医
	医師	入澤 寛	<ul style="list-style-type: none"> ・日本リハビリテーション医学会専門医 ・日本整形外科学会専門医 ・日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医
	医師	塚本 穂波	

・麻酔科

特色	<p>浜松医科大学麻酔科医局から派遣されたスタッフが、医局のサポートのもとに維持しています。安全・安心な麻酔管理をめざして、中央管理（セントラルモニター）システムを駆使しながら、日々の麻酔業務に取り組んでいます。もちろん、一人の麻酔科医が同時に複数の患者の麻酔を担当することはいたしません。術前・術後の診察を通して手術に伴うリスクを評価し、患者さんを全人的視野から把握することと説明・同意を大切にしています。術前・術後訪問により、患者さんとのコミュニケーションを大切にしています。</p> <p>抗凝固療法を受けている患者さんには、iv-PCA（自己調節型の経静脈的鎮痛法）によって患者さんの術後の痛みを和らげ、周術期の疼痛管理を行っています。また、術後の悪心・嘔吐や悪寒・ふるえなどの予防にも取り組んでいます。</p> <p>手術室業務において円滑な意思疎通が図れるような環境作りやコメディカルとの連携を重視しています。</p>		
スタッフ	部長	木倉 睦人	<ul style="list-style-type: none"> ・日本麻酔科学会指導医・専門医 ・日本集中治療医学会専門医 ・日本心臓血管麻酔学会専門医 ・医学博士：浜松医科大学
	医師	佐藤 恒久	・麻酔科：標榜医（厚生労働省）
	非常勤	西野 淳子	・日本麻酔科学会専門医

■ 平成24年5月分 紹介関係件数等

1. 紹介件数	488 件
2. 救急搬送件数	283 件
3. 紹介率	78.8 %
4. 逆紹介件数	319 件
5. 逆紹介率	38.2 %
6. 共同診療件数	10 件

独立行政法人 労働者健康福祉機構

浜松労災病院 地域医療連携室

〒430-8525

浜松市東区将監町 25

TEL 053(411)0366 FAX 053(411)0315

月～金 受付時間 8:15～18:00

土 受付時間 8:15～12:00 (事務当直室)